

60件の申請の中にはこんなアイデアも！（公開希望者のみ掲載）

No.	テーマ	概要
1	キタキユウ・イマーシブ・シアター： まち全体が舞台になる一日	北九州市の街(特に商店街や旧市街地など)を丸ごと演劇の舞台に見立て、観客が能動的に参加しながら物語を体験する“イマーシブシアター”イベント。 観客は「観る側」から「物語の登場人物」へと変化し、複数の物語が同時多発的に展開する空間を、自ら選択しながら体験する。 Z世代らしいボーダレスで参加型の発想を活かし、「街をただ歩くだけでは出会えない北九州」に出会う機会をつくる。
2	「虹の戦士」をロールモデルとした 現代に描ける未来：✦ 環境貢献ビジネス Sw+rdプロジェクト(クリーンパスターズ)仮名	環境問題への意識を「義務」から「楽しさ」へと変えたいという強い情熱を持っている。自分たちの手で街を綺麗にし、その成果を分かち合うことで、参加者自身が地球を救う「虹の戦士」であると実感できる、そんな体験を提供したい。
3	KAGUYA FIT ～障がい者の壁をなくすために～	放置竹林から抽出した竹繊維と北九州市で回収された再生PETボトル由来の糸を主材料とする、甲高・幅広の足型(足の障がい者に多い足型)にやさしい女性用パンプス/フラットシューズの製造・販売事業。
4	民泊×グローバル 『ORIO ACTIVATION BRIDGE』	留学生に会いに来た家族の宿泊場所を提供する。それに加え、折尾の「地域活性化」を目指す。民泊施設『YADOYA 運來』に協力いただき、この施設を本事業の拠点とし、宿泊者は連携した飲食店にてお得に食事を、専用のバスで北九州の町を観光できるサービス等を利用できるというもの。
5	#じぶん推し旅 ～子どもの生きる土台を育てる出張レッスン～	北九州市の小学生、中学生、高校生の「からだ」と「こころ」の成長をサポートするためにピラティス・ヨガレッスンを提供する。子供たちには自分の変化や成長を記録できるオリジナルノートを提供し、初めてレッスンを受けた日のノートとゴールのイベントを終えた日(最終レッスン)のノートを比べることで見てくる子供たちの変化をプロジェクトの集大成として発表する。
6	「ひなたぼっこ食堂」	人と人同士の“つながり”をつくりたいという強い想い、将来を担う子ども達が笑顔で生きていく為の“つながり”の一端を築くことが出来ればという思いから企画。みんなで食卓を囲んでごはんを食べる楽しさやあたたかさを子どもたちに感じてほしいと考えている。
7	北九州市の新たなお土産開発プロジェクト ～北九州市×美食～	「北九州市×美食」をテーマに、中学生や大学生が北九州市の名店とコラボし、地元産の食材を活用したお土産品の開発をチームとなって行う。 中学生と高校生はアイデアを出し、専門的に学んでいる大学生にアドバイスをもらう。マーケティング分野・パッケージなどデザイン分野・SNSやECサイトなどデジタル分野・味や食材など調理や栄養分野などの大学と連携。
8	環境副読本×地球環境カードゲーム「My Earth」 による環境教育の展開	マイアースを学校教育の場や、子どもたち自身でも学びが深められるように、マイアースに加え、環境副読本を制作し遊びと学びの完全一体化を目指す。
9	3Dプリンター住宅で創る、新たな北九州	本提案は、3Dプリンター住宅と電気自動車(EV)のリース・販売を掛け合わせ、空き家問題や高齢化・人口流出などの課題を解決する「地域創生プロジェクト」。 Z世代が自ら3D住宅に住み、その生活をSNSで発信しながら、地域住民・企業・行政との連携を深めて住宅街の形成を目指す。さらに、住宅街に地域密着型のカフェや学生が運営するコミュニティスペースを併設し、若年層と高齢者が自然とつながる新しい地域モデルを実現する。また、EVの普及も促進し、北九州市の「環境モデル都市」としてのブランド力を高める狙いも含む。
10	KITAKYU夜市～宵の彩りテント～	カラフルな色のテントを並べて夜市(ナイトマーケット)を開催する。タイの有名なナイトマーケット「ザ・ワン・ラチャダー」をモチーフにしており、上から見たときに、色とりどりのテントが連なって並び、まるで万華鏡を覗いているかのような色彩豊かな光が一面に広がる場所を創出する。 テントの素材やデザインには、地元・小倉の伝統工芸である「小倉織」の要素を取り入れることで、地域性や文化的な魅力も表現したいと考えている。伝統と現代の融合によって、観光客だけでなく地元の人々にも愛される空間を生み出す。
11	みんなの場所	佐賀県での高校時代に体験した「音楽の時間」という地域イベントから影響を受け、自分も「誰もが気軽に自分の好きなことや得意なことを披露・共有しあえる場(イベント)」を創出したい。現在は学内で活動しているが、長期的には、北九州市の文化・地域活性化の象徴となる定期イベント化を目指す。
12	地方と世界をつなぐ「暮らすように旅する」日本ツアー in 北九州	世界各国の留学生と交流する中で、「もっと日本の暮らしを体験したかった」という声に共感したことをきっかけに、外国人観光客・留学生・日本人学生・地域住民がともに参加する2泊3日の体験型ツアーを北九州市で企画・実施したい。「観光地をめぐる」のではなく、「暮らすように旅する」をコンセプトに、地域の文化や人との交流を通して日本のリアルな日常を体験するもの。
13	リアル松五郎プロジェクト —Z世代が仕掛ける、次世代型人力車プロジェクト—	数年前、病で握力を失い、歩行困難になり、日常の当たり前すら保てなくなったが、その「引けなくなった時間」がまだ、まちは“引きしろ”だらけだと教えてくれた。そこで、映画『無法松の一生』の人力車夫・松五郎に着想を得て、北九州を舞台に「観光」「福祉」「文化」「教育」を横断する多機能型人力車サービスを展開したい。
14	世界初かつ世界最大?? 竹を使ってキャンプファイヤー!! ～竹って万能だって伝えなきゃ♪～	放置竹林や竹害による自然環境への悪影響(広葉樹林の侵食、水脈切断など)や、地域住民間の交流機会の減少、市民が一体感を持てる場が少ないことが課題と考え、毎年秋に開催される「小倉城竹あかり」で使用された大量の竹を再利用し、北九州市民が一体となる大規模キャンプファイヤーイベントを開催したい。参加者が火を囲んで合唱などを行う交流型イベントとし、竹の有効活用と地域の一体感醸成を両立させる。
15	『アイデアの無法地帯』 ～革新的な街、北九州を作る若者育成プロジェクト～	『アイデアの無法地帯』という、自己理解 × 異文化協働 × AI活用を通して、北九州から「変化」に強く、挑戦できる若者」を育てるプロジェクトを立ち上げ、創造的失敗を称賛する文化と、グローバルな視点を備えた起業家精神を、北九州に根づかせることを目指したい。
16	M&P	北九州市内の商店街(例:日過市場・魚町銀天街など)で深刻化する「人手不足」と「仕入れコスト増」を、店舗間の横の連携とITの力によって解決する、連携支援システムを構築したい。地域の力を結集し、小さな支え合いの連鎖を“仕組み”に変えることで、北九州の商店街を持続可能な形で再生する。